



# あしべつ

# 市議会だより

2020年  
2月1日  
No.14

芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/gikaijimu/gikai.html>

令和2年1月12日に「芦別市成人式」が市教育委員会の主催で、市民会館大ホールで開催されました。式典終了後には青年センター体育館で同級生との久々の再会に親交を深めていました。



議長 動 静

芦別市議会議長 田森 良隆

昨年11月15日、東京都で開催された全国過疎地域自立促進連盟第50回定期総会並びに新過疎法制定実現総決起大会に出席しました。

これは、現行の過疎法が令和3年3月をもって失効となることから、引き続き、総合的な過疎対策を充実・強化し、過疎地域の振興が図られるよう新過疎法の制定を求め、全国の関係自治体が決起したものであります。

新過疎法の施行により、本市が引き続き過疎地域の指定を受けた場合、過疎債の適用が受けられることとなります。

現状本市においては、もはや過疎債が無ければ、地域振興事業などの大きな事業は成し得ないと言っているほど、必要不可欠な財源となっております。

過疎の問題は、首都圏等への過密問題と表裏一体の社会問題であり、国が過疎対策に力を入れ、過疎地域を特に優遇するのは、そこが、国にとって、国民全体にとって、必要な場所だからです。本市のような過疎地域の面積は国土全体の半分以上を占めます。人間にとって必要な森、水、田畑、伝統文化など、国を支え、都市圏を支えるための必要な、そして、国土の保全、生命維持に欠かせない環境が、そこにはあるからなのです。

こうした地域を愛し、誇りに思い、そこに住み続けたいと強く願い、そこで住み続けるために一生懸命頑張っている人たちがいる限り、国はそこに手を差し伸べ続けなければならぬとの思いを、一層強くいたしているところであります。

## 主な内容

- ◎総務常任委員会道外行政視察…………… 2
- ◎12月定例会一般質問…………… 3～6
- ◎12月定例会の議決結果…………… 7
- ◎社会産業常任委員会道外行政視察…………… 8

# 総務常任委員会道外行政視察

本委員会は10月15日から18日までの日程で、熊本県人吉市、宇土市、荒尾市及び福岡県筑紫野市を訪問し行政視察を行いました。

人吉市では、人口減少問題について、各種の移住定住施策の取り組みを視察しました。平成28年から3年間の計画で「人吉市賑わい創出事業」を実施していました。高校卒業後、地域から出てしまう生徒が多い状況をふまえ教育関係者を対象に地域教育の重要性や若者の雇用創出によるまちの活性化に向けて商工業者との勉強会を行っていました。市民参加の「ひとよし未来会議」ではテーマごとの分科会を開催、特に高校生の分科会には60人以上の応募があったそうです。

総まとめでは、「20年後の人吉像」のイメージを出しあい、共感の高いものは表彰。最終年の平成30年には、「しごと創出業務」の事業として、高校生を含む10人による起業家育成の合宿を行いました。

市職員が高校に向き直接意見を聞く取り組みなどから、若者がまち

づくりで大勢参加し地域の賑わいを取り戻した熱意が伝わりました。

本市においても、高校生を巻き込んだ勉強会や分科会に取り組むべきと感じました。

宇土市では、崇城大学との連携による「まちづくり」提案事業について視察しました。

職員のスキルアップや地元特産の野菜のアップルの研究開発で職員が大学の講義を受講したり、庁舎建設については大学の協力を得て進めておりました。



福岡県筑紫野市にて

学生による地域を元気にするためアイデアを地元の人と対話したものをまとめ、実施可能なものの事業化を検討しており、学生による研究政策を行政に反映させる取り組みや大学と連携したまちづくりは参考とすべきと感じました。

荒尾市でのRPA（※）導入の実証事業の取り組みについて視察しました。

導入目的は、①定型業務の自動化による効率化②作業の自動化で単純ミス防止③業務の平準化と職員配置の適正化などの効果を見込んでいます。RPAの導入可能と判断している業務は、現時点でふるさと納税業務と市県民税特別徴収異動届ですが、業務の削減時間は573時間、削減効果は153万円でした。

事業検証を進め、RPAへの協力の部署を広げつつ、小規模ながら導入を推進していくとのことでした。

荒尾市の実証事業では、RPAの導入により一定の成果をあげており、本市でも導入効果が期待できる業務は優先的に導入を進めていくべ

きと感じました。

福岡県筑紫野市では、平成31年1月に開庁した新庁舎建設事業を調査しました。旧庁舎は増築の繰り返しによる複数棟という庁舎群と老朽化に加え、駐車場やエレベーターなど市民の利便性向上からも、庁舎のあり方の早期検討が迫られています。

平成29年に建設工事着工、翌30年に竣工、31年1月に開庁しました。庁舎は地上6階建てで、事務フロアを仕切りのない開放空間としたのは、将来の組織再編に柔軟に対応できるように配慮したものとなっていました。

大規模災害に復旧・復興の拠点として機能維持出来るよう基礎免震構造を採用し、地震による被害を最小限に抑えるものとなっていました。

安心・安全の防災・減災への徹底度は本市の新庁舎建設の参考にすべきと感じました。

以上、行政視察の報告といたします。

※RPAとは、コンピュータ上にロボットを導入し、単純な作業をそのロボットが行うことで業務の自動化を進めることができる技術のことです。

## 12月定例会一般質問



政風会  
北村 真 議員

令和2年度以降の国設スキー場の運営について

### 質問

当初は本年度の営業をもって休止する予定であった国設別スキー場は、会派代表者会議において令和2年度以降も指定管理者を募集する方針であるとの説明があった。スキー場の指定管理者になるための条件等について伺う。

### 答弁

公募を原則とし、法人格の有無は問いませんが、主な条件として、一つには応募者は団体であること、二つには利用料金の収入をもって管理運営費を賄う利用料金制で運営すること、三つには設備や車両類の更新及び修繕費用の一切を指定管理者が負担することなどのほか、運営にあたっては法令順守と安全運行管理の徹底を求めるものであり、そのためには安全統括管理者

12月定例市議会では、一般質問が行われ、7名が立ちました。それぞれ要旨を掲載しています。なお、会議録は図書館、市内各コミュニケーションセンターで閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

### 要望

スキー場の運営を行う上で様々な準備が必要となると考えるので、令和2年度の営業がスムーズに行えるように早めの対応をしていただくことを求める。



日本共産党  
松井 邦男 議員

性的少数者LGBTへの偏見や差別をなくし正しい理解を

### 質問

性的少数者（13人に1人と見られる、多様な性のあり方が認められる社会に向けての取り組みについて伺う。道教委は高校入試願書から性別欄を廃止。文科省は性同一性障がい児の児童生徒に配慮した校則への見直しを求めており、制服や体操着の男女共通や選択自由の検討を伺う。

### 答弁

差別や偏見はあつてはならず、多様性を認め合う社会の実現に向けて正しい理解のために市

発がん性指摘農薬の健康被害の懸念について

### 質問

グリホサート系除草剤とネオニコチノイド系殺虫剤は発がん性が指摘され、子どもへの健康被害が懸念。グリホサート系除草剤は、アメリカなどでは収穫直前の小麦に使用。輸入小麦を原料とする食材から発がん成分が検出。またネオニコチノイド系殺虫剤は作物への浸透性が高く残留が指摘されており、道内で販売や使用中が見られます。学校や病院の給食に輸入小麦を原料の食材使用の有無と、なまこ山総合運動公園などでの殺虫剤の使用中止について伺う。

### 答弁

学校給食では道産小麦を使用。つばさ保育園や市立病院では、輸入小麦を原料にした食材を使用。一括購入先の会社での製品

は輸入小麦を原料としたものが大半であり、コスト面から国産への切り替えは困難。なまこ山総合公園の各施設の除草に使用しているが、発がん性は低いと認識しています。

**厚生労働省の公立・公的病院の再編統合公表に抗議と撤回を**

**質問** 厚生労働省は再編統合の対象病院名を公表したが、北海道

では公立・公的病院の約半分を名指しした地域の実態を無視する乱暴なもの。病院は地域住民の健康のトリデ。各地では病院経営を守るために必死の取り組みをしていることを無視するもの。名指しに抗議し撤回を求めるべき。市長の考えを伺う。

**答弁** 地域の実態に即したものではないが、撤回ではなく柔軟な対応を求めたい。市民には、まちづくり懇談会などで説明してまいります。



無 所属  
若松 市政 議員

キラキラバスの運行について

**質問** もう少し市民の生活実態に合った運行、つまり、この街で生活する方々が買い物や市立病院、市役所あるいは福祉センターなどで用事を済ませ帰宅する時間に合った運行ができないものか伺う。

**答弁** ダイヤごとの実際の利用実態を踏まえ、市民の通勤通院、買い物などの利便性にも配慮したダイヤ編成ができないか、10月以降に運行事業者と意見交換をしております。

**駅前広場整備事業の財源について**

**質問** 昨年度実施予定だった事業が、財源の問題で今年度にならなかった。この事業は何を財源として実施したのか伺う。

**答弁** 整備の総事業費は5962万円、財源は、起債（借金）として元金償還の据置期間2年を含む償還期間が12年の北海道市町村振興基金からの貸付金4980万円と、元金償還の据置期間5年を含む償還期間が20年の地方道路等整備事業債560万円を借り入れるほか、地域・産業振興基金からの繰入金422万円の充当を予定しております。

**温泉を利用した医療及び観光振興について**

**質問** 新たな観光・地域振興のための温泉療養のあり方について考えを伺う。

**答弁** 他市での取り組みを参考にしつつ、星遊館においてどのような温泉療養ができるのか、施設の指定管理者である北海道ホテル&リゾート株式会社と協議してまいりたいと考えております。

**国設芦別スキー場について**

**質問** スキー場を継続するにはどのような良い考えがあるか伺う。

**答弁** 今シーズンの営業をもって市としての運営は休止とさせていただきます。令和2年度からは、指定管理者を公募し、利用料金制のもとで運営ができるよう期待してまいります。



政 風 会  
林 伸樹 議員

**多面的機能支払交付金による取り組みについて**

**質問** 資源向上共同活動において、活動されていない面積をカバーできれば加算も含めた増加が見込めるが、今後の施策について本市の所見を伺う。

**答弁** 中山間事業と並行して共同活動ができないことや、増加に伴い活動組織が担う事務処理の増加を敬遠する傾向があることから、現状においては難しいものと考えております。

**質問** 農業者の減少、高齢化などで、活動をきっかけとした組織づくりが必要と考えるが、本市の考えを伺う。

**答弁** これまで以上に農業者以外からの参画などを求めながら、組織づくりを進めていくことが必要と考えております。

**質問** 小規模集落を取り込んだ場合の支援措置の課題点について伺う。

**答弁** 既存体制のまま小規模集落の保全活動まで支援が可能となるのか、また事務作業が煩雑化するなどの課題があると思われる。

**質問** 外来種であるアライグマ駆除は生態系保全活動として実施できないか伺う。

**答弁** 生態系保全活動の対象となることから、5つの活動組織で箱わなを設置して実践しているところです。

**質問** シカによる被害対策にIC-T機器を使い、持続的鳥獣害対策体系の確立ができないか伺う。

**答弁** 5県7市町において実証試験を行っている段階であり、その実証結果を見定めていきたいと考えております。

**質問** 農村保全や人材の発掘・育成ということも鑑みて、高校など核とした多様な主体が参画できるプラットフォームを設けていく必要があると思うが、本市の考えを伺う。

**答弁** 市が中山間芦別集落と小学校や高校との調整を行い、学校教育との連携に係る事業に取り組んでおり、今後においても同様に発展していくよう努めていきたいと考えております。



新風会  
新村 充 議員

**犬猫の保護活動への対策について**

**質問** 保護犬・保護猫情報の周知について、本市では平成30年度【犬の引取り1頭、うち保健所引渡し1頭】【猫の引取り8頭、譲渡3頭、保健所引渡し4頭、振興局引渡し1頭】となっている。本市で保護された場合3日間の係留期間しなく、その間に譲渡先を見つけないのは困難。犬猫の係留情報をSNSや環境衛生係などで周知する考えはあるか伺う。

**答弁** 市において係留していることを新たにLINEで周知したいと考えております。

**再質問** 空知総合振興局では犬猫の飼い主がしノートという取り組みを行っているが、本市でも周知する考えはあるか伺う。

**答弁** 環境衛生だよりで周知したいと思えます。

**質問** 地域猫活動への助成について、野良猫を地域の住民の

方々の協力で、不妊・去勢手術をし、エサやトイレを管理する地域猫活動だが、費用が市民の負担となつている。猫が苦手な方も好きな方も野良猫はいないほうが良いという点では一致している。この野良猫を減らす活動へ助成する考えはあるか伺う。

**答弁** まずは活動を行っている個人や団体、現状の問題を把握するところから取り組みたいと思えます。

**森林環境の保全と整備の推進について**

**質問** 本市の森林面積は約88%で、このうち国有林は91%、道有林が3%、私有林が5%、市有林は1%にも満たない中、平成29年度、30年度と少しずつ購入し、拡大をしていた市有林も令和元年度予算はつかず購入は見送られた。これでは森林施策は進めていくとはいえない。国有林との分収造林契約締結の意思と進行状況を伺う。森林整備面積も増えると林業事業体にも仕事が増え、雇用増が期待でき、市の収入にもなると思うが。

**答弁** 国有林との分収林契約により森林施業面積を拡大していくことは必要であると考えております。森林管理署と引き続き協議を

行つてまいります。



公明党  
松尾 達矢 議員

**森林環境譲与税について**

**質問** ①本市に対する令和元年度と令和2年度の譲与額を伺う。②森林環境譲与税の使い方を伺う。

**答弁** ①共に同額の664万4千円が譲与される見込みです。②今年度は森林の経営管理に関する意向調査の経費として18万9千円を活用し、残りを芦別市森林環境整備基金へ積立てを行い、各種の森林施業に活用したいと考えております。

**提案** 「北の森づくり専門学院」が開校を予定し、実践・実習拠点として本市で学びます。学院生および本市の小・中・高校生に本税を活用できるようお願いします。

**公営住宅について**

**質問**

①単身者が希望された場合の入居条件を伺う。②除雪費用を世帯ごとに均等に負担しており、退居後の入居者は無く、更に退居者が増えると負担が困難な状況との話をお聞きしているが、市としてどのような対策を講じているか伺う。

**答弁**

①公営住宅法の入居条件のほか、同居する親族がいることが条件ですが、特例として過疎地域等の指定を受けている本市は単身でも入居が可能です。②入居者の減少で一戸当たりの管理する範囲や共益費の負担が増加している現状も把握しております。対策として、需要に見合った戸数に削減し、計画的に建替え事業を進め、その間の相談につきましても、状況に応じた対応を図ってまいりたいと考えております。

**マイナンバーカードについて**

**質問**

①本市における発行数及び人口に対する交付枚数率を伺う。②現段階におけるカードを持つ芦別市民のメリットを伺う。

**答弁**

①令和元年11月30日現在の交付枚数は、1820枚で、人口比の交付枚数率は13.8%で

す。②身分証明書として利用でき、マイナンバーの記載が必要な諸手続きに証明するものとして利用できま



新星クラブ  
石川 洋一 議員

**在宅福祉サービス事業について**

**質問**

ハイヤー券交付事業の見直しについての進捗状況を伺う。

**答弁**

現行のハイヤー1回の乗車につき1枚という利用制限を見直し、令和2年度からは一度に複数枚使用できるよう条例を改正したいと考えております。

**質問**

緊急通報システムの電池交換の今後の対応と、モバイル型の緊急通報装置導入の考え方について伺う。

**答弁**

緊急通報装置の電池交換は2年に一度にかかる費用約1万円については、利用者にとって一時的に大きな負担となることから、負担額を軽減できる方法について検証を考慮しており、具体的には令

究してまいります。

**移住定住施策について**

**質問**

移住定住施策として、若者や特に高校生などを巻き込んだ勉強会の取り組みについて伺う。

**答弁**

本市においても、まち・ひと・しごと創生総合戦略において、若者の移住定住の促進に取り組んでおり、高校生を対象とするアンケート調査、学校関係者からの意見交換、地元定着に繋がる高校生に対する市内企業説明会などを開催しております。しかし、高校生などの直接対話や議論の機会が少ない現状でありますので、意見交換の場を設けたいと考えております。

**質問**

市役所窓口業務を始めとして、今後のキャッシュレス化への取り組みについて伺う。

**答弁**

利用されるニーズ、収納業務の流れ、公金収納の確実性や業務の効率化など十分に検証しながらキャッシュレス化について研

**キャッシュレス化の推進について**

**3月定例会市議会のお知らせ**

- 会期 3月5日(木)～23日(月)
- 日程
  - 5日(木)本会議(議案の提案)
  - 9日(月)本会議(代表・一般質問)
  - 10日(火)本会議(一般質問)
  - 11日(水)・12日(木) 常任委員会
  - 13日(金)・16日(月)～19日(木) 予算審査特別委員会
  - 23日(月)本会議(議案の議決)
- 開会時間 いずれも午前10時から
- ※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります。

**『市議会と市民との意見交換会』の開催**

このたび芦別市議会では、市が「建て替え」を軸に検討している市総合庁舎の整備について、市民の皆さんのご意見を聞かせていただくための意見交換会を開催します。どなたでも参加できますので、お気軽に会場にお越しください。  
**日時：2月18日(火) 午後6時～8時**  
**場所：総合福祉センター(別館ふれあいホール)**  
**テーマ：「市総合庁舎の整備について」**

## 12月定例会の議決結果・議会の動き

12月12日、令和元年第6回市議会（定例会）が招集され、会期を20日までの9日間と定めて、令和元年度補正予算、条例制定・改正・廃止、人事案件などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

### ■全員賛成の議案

議案	件名	結果	議案	件名	結果
補正予算	令和元年度一般会計（第6号）	原案可決	その他	学習用コンピュータの取得	原案可決
	令和元年度一般会計（第7号）	原案可決		公の施設の指定管理者の指定（緑地等管理中央センター）	原案可決
	令和元年度介護サービス事業特別会計（第1号）	原案可決		公の施設の指定管理者の指定（オートキャンプ場）	原案可決
	令和元年度市立病院事業会計（第1号）	原案可決		人権擁護委員候補者の推薦（被推薦者：永井雅己氏、須藤美紀子氏、山田恵一氏）	可と答申
条例制定	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	原案可決	報告案件	選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙（委員当選人：遠藤均氏、奥原茂氏、瀬戸俊郎氏、小川圭二氏）（補充員当選人：宮田武彦氏、神下勇氏、黒田清実氏、石岡祐二氏）	当選
	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決		法律上市の義務に属する損害賠償の額を定めることの専決処分	報告済
	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決		放棄した私債権	報告済
条例改正	職員給与と条例等	原案可決	意見書	授業料減免制度の現行水準を維持することを求める意見書	原案可決
	基金条例	原案可決		日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加の中止を求める意見書	原案可決
	生活交通路線維持対策補助金交付条例	原案可決		「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書	原案可決
	がん検診等実施条例	原案可決		スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書	原案可決
	老人福祉共同住宅条例及び芦別市市営住宅等管理条例	原案可決	■閉会中継続審査となった案件		
	普通公園条例等	原案可決	議案	件名	
	手数料条例	原案可決	条例制定	子育て世代包括支援センター条例	
	生活館条例	原案可決			
条例廃止	保健センター条例	原案可決			
人事案件	副市長の選任（被選任者：稲場厚一氏）	原案可決			

### 議会の動き

令和元年11月上旬～令和2年1月下旬【11月】

- 5日～8日 社会産業常任委員会道外行政視察（大分県）
- 11日～12日 全国市議会議長会地方行政委員会（東京都）
- 14日～15日 全国過疎地域自立促進連盟第50回定期総会（東京都）
- 〃 全国過疎地域自立促進連盟新過疎法制定実現総決起大会（東京都）
- 18日 主要道道芦別美瑛線整備促進期成会総会・要望活動（美瑛町ほか）
- 18日～19日 総務常任委員会（所管事務調査）
- 20日～21日 社会産業常任委員会（所管事務調査）

- 22日 総務常任委員会
- 〃 鉄道フォーラム（赤平市）
- 25日 後期高齢者医療広域連合議会（札幌市）
- 26日 主要道道美唄富良野線整備促進期成会総会・要望活動（札幌市）
- 27日 総務常任委員会【12月】
- 2日 中空知広域市町村圏組合議会（滝川市）
- 〃 石狩川流域下水道組合議会（滝川市）
- 〃 中空知衛生施設組合議会（滝川市）
- 3日 空知教育センター組合議会（滝川市）
- 〃 滝川地区広域消防事務組合議会（滝川市）

- 5日 議員会派代表者会議
- 〃 議会運営委員会
- 10日 総務常任委員会
- 12日～20日 第6回市議会（定例会）
- 17日 議会改革特別委員会
- 18日 総務常任委員会
- 〃 議員会派代表者会議
- 〃 議会運営委員会
- 19日 社会産業常任委員会
- 20日 広報広聴委員会【1月】
- 16日 総務常任委員会
- 〃 議会改革特別委員会
- 17日 社会産業常任委員会
- 〃 広報広聴委員会
- 23日 広報広聴委員会
- 30日～31日 全国市議会議長会地方行政委員会（東京都）

# 社会産業常任委員会道外行政視察

社会産業常任委員会は、大分県の杵築市、中津市、臼杵市及び竹田市を訪問し各市の取り組みを視察してまいりました。

杵築市では「子育て世代包括支援センター」を視察しました。ここでは、健康長寿あんしん課と子ども子育て支援課の2課で支援する組織体制を「ハートペアルーム」と名付け、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないきめ細やかな支援を、2課の連携で実現されておりました。また、特徴的な支援策として「第3の居場所」というものがあり、家庭の事情で満足に食事ができなかつたり、日常の生活習慣をしつけてもらえない環境にある子どもたちに対し、食事の提供だけでなくスタッフが家族のように接し、子どもの自立を促す取り組みがおこなわれておりました。

中津市では、認知症対策で市民の理解を深めるため「中津市認知症ケアパス」を作成し、ケースワーカーや認知症支援推進員などが、様々な取り組みを通して市民に向けて発信する事業を視察してきました。



大分県臼杵市にて

臼杵市では地域医療の取り組み「うすき石仏ねっと」を視察しました。これは、各病院・訪問看護ステーション・調剤薬局・介護施設・居宅事業所・消防署などの間で、患者さんの病気や薬の内容、検査結果などの情報を共有・協力し合うことで、安全で質の高い医療や介護サービスを提供するためのものです。登録した市民の医療・介護に関する情報を、ケーブルテレビ回線を利用した独自の医療・介護・包括型地域ICTネットワークで、治療経過や検査データ

が参加医療機関で共有され、それらは個人に与えられる「石仏カード」の提示で取りだすことができ、救急車を呼んだ際はこれを介した既往歴の確認により、搬送時の速やかな処置が可能となり、救命率が向上しているそうです。

最後に、竹田市では、温泉の効能を健康づくりに生かし、介護サービス費用の抑制や予防医療の観点から、温泉の効能を科学的に調査することによって、それらを竹田市の魅力として全国に発信し、観光客の誘致を行っていました。本市とは泉質の違いがありますが、その特徴を積極的に情報発信するなど、観光振興への取り組みについて、この竹田市から多くを学んできました。

今回の行政視察で得たことを、今後の市政運営や議会活動に生かしてまいりたいと考えております。

## おことわり

「議会の動き」は7ページ、「3月定例会議会のお知らせ」は6ページに掲載しています。

## 編集後記

市民の皆様には日頃より議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

年末から年始にかけて例年に比べて雪は少ないですが、寒い日が続いています。健康管理にはくれぐれもご注意ください。

昨年12月14日にオープンを予定しておりました国設芦別スキー場ですが、雪不足による3度の延期を経て、本年1月3日ようやくオープンとなりました。

また、昨年12月23日には、市民の皆様が待ちわびていた、おふるcafe星遊館がリニューアルオープンし、温泉やレストラン、休憩コーナーが大変な賑わいと聞き、うれしく思っています。

芦別市の課題は、市庁舎の建設に係る財政負担や、市立病院の経営問題など、多々あります。

市民に開かれた議会、そして市民の声を代弁できる議会を目指していきますので、更なるご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(大鎌)

## 芦別市議会広報広聴委員会

委員長 樋坂直紀

副委員長 松尾達矢

委員 大鎌光純、林伸樹、石川洋一、

松井邦男、新村充